

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム ル・サンテリオン東郷			
開催日	令和3年10月27日（水）			
開催場所	ル・サンテリオン東郷 通所リハビリホール			
出席者 （書類送付者）	構成区分	人数	構成区分	人数
	地域住民の代表	3名	ガーデンハウス野花ご家族	1名
	地域包括支援センター	1名		
事業所	グループホーム	1名		
出席者	事務局	2名		
欠席者	グループホームご家族			

《 グループホーム 状況報告 》（令和3年8月21日～令和3年10月20日）

基本目標	住み慣れた地域の中で、ご家族・地域と共に生きる喜びを感じあえるグループホーム						
利用者の状況	入居者	9名（定員：9名）					
	年齢	86～97歳（平均年齢：91.9）					
	介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
		1名	2名	4名	2名	0名	2.8
入退居の状況	新規利用者	0名					
	退居者	0名					

《 主なご意見 》

- ・湯梨浜町長寿福祉課課長より

利用者状況について、入退去状況が10/20現在となっているが期間はいつからなのか。

→前回の運営推進会議以降の状況を記載している。

- ・野花地区長より

事故ヒヤリハット関係について、事故の状況は分かるがその後の対策や効果確認はどうなっているのか。

→それぞれの事故ヒヤリハットに対して原因を分析し対策を立てている。期間を定めて効果確認を行ない、事故予防に努めている。※今後は事故ヒヤリハット状況だけでなく対策や効果の報告も行っていく。

《 先回の要望・助言の対応報告 》

なし

《 その他 》

- ・グループホーム外部評価実施

1) 自己評価報告

- ・サービス評価の自己評価について、取り組みの成果と根拠を説明する。

2) 質疑応答

長寿福祉課課長

- ・現在コロナが落ち着いてきているが、今後コロナが終息しても他者交流は難しい。
今後どのような形で地域連携を図っていくのか考えを聞かせて欲しい。
→特別なことはできないが、感染対策を取りながら地域住民参加の防災訓練や子ども会との交流など、今まで実施していた取り組みを少しずつ再開できたらと考えている。
地区の方に向けて介護予防に特化した広報誌の配布も計画している。

野花地区長

- ・今回の外部評価がどのように活用されるのか。
→改善が必要なものに対して期限を設けて改善計画を立て、実行していく。後日結果を報告する。
・評価項目が多いと感じる。
→運営推進会議での外部評価について今年度が初めての取り組みだったため試行的な実施となった。今後は厚労省のモデルも参考にしながら評価方法を検討していきたい。

野花地区住民代表

- ・通院について、誰が対応しているのか。
→定期受診であれば基本的にはご家族に対応を依頼している。ご家族の都合が悪い時や、緊急時であれば職員が対応している。感染拡大時についてもご家族との接触が難しい為、状況を見ながら職員が対応するようにしている。

3) ご意見

野花地区住民代表より

- ・大勢での生活で一人ひとりのペースで暮らすことの難しさは当然有り、100%は無理。
その中で努力を感じます。一人ひとり役割や楽しみがある生活の支援、季節や行事を感じる催しをしておられ良いことだと思います。